

豊洲移転はきっぱり中止を

再調査で基準100倍のベンゼン

都の汚染対策は失敗



▲豊洲新市場予定地

東京都が築地市場の移転先としている豊洲新市場予定地（東京ガス豊洲工場跡地）の地下水再調査で、環境基準の100倍のベンゼンなどを検出したことが、3月19日の専門家会議で公表されました。今年1月に基準の79倍のベンゼンなどが検出された9回目の調査結果を確定値とすることも確認されました。高濃度の有害物質の検出値が確定したことで、都の土壌汚染対策が失敗し、深刻な汚染が残っていることが裏付けられました。

築地市場の豊洲移転は中止し 現在地再整備の本格的検討を

このような汚染地に生鮮市場を移転するわけにはいきません。マスコミの調査で豊洲移転反対が43%と、賛成の29%を上回り、市場業者のとりくみでも「7割が移転反対」という結果になりました。築地市場の豊洲移転をきっぱり中止し、築地市場の再整備の本格的検討に踏み出すべきです。

食の安全・安心を守る 都政改革に全力

都の汚染対策の失敗は明らかであり、何よりも安全・安心を確保すべき市場を深刻な土壌汚染地に移転する計画の破たんは明白です。東京ガス豊洲工場跡地への移転を強引に進めてきた石原慎太郎元知事らはもとより、一緒に推進してきた自民党、公明党などの責任も厳しく問われます。

築地市場の豊洲移転は中止し、築地市場の現在地での再整備（建替え）の本格的検討に取り組むべきです。



都議会議員（江東区選出）

あぜがみ・みわこ

あぜ上三和子

日本共産党

東京民報 ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2017年3月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行 / 東京民報社（港区芝1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可